

## 建築文化週間 2015 中国支部

### 戦災復興より 70 年 ―岡山の建築と街のあゆみ再考―

戦後 70 年、空襲で焼け野原となった岡山の中心市街地も、ほとんど戦災の影も残さず、高層ビルが建ち並ぶ政令都市として活況を呈している。昨年、JR 岡山駅近くにあった、約 46,000 m<sup>2</sup>の駐車場跡地に中国・四国地方最大級の総賃貸面積 92,000 m<sup>2</sup>を持つ都市型ショッピングモールがオープンした。中四国の交通結節点に位置する岡山市の中心市街地は、山陽新幹線の開通、瀬戸大橋の建設毎にその景観が変化し、佐藤武夫、前川國男、村野藤吾、A・レーモンド、岡田新一、芦原義信、安藤忠雄、妹島和世等の近・現代建築をリードした建築家達の建築が集積する。この建築文化週間では、岡山の建築と街のかかわりを再考することとして、岡山のランドマークとなった建物を見学するプログラムと「文化としての建築と街のかかわり」についてシンポジウムを、企画する。

**主 催**：中国支部

**企 画**：建築文化週間 2015 実行委員会

**協 力**：おかやま建築 5 会 + まちづくり協議会（岡山県建築士会、岡山県建築士事務所協会、日本建築学会中国支部岡山支所、日本建築家協会中国支部岡山地域会、岡山建築設計クラブ、NPO まちづくり推進機構岡山）

**後 援**：岡山県、岡山市、山陽新聞社、朝日新聞岡山総局、RSK 山陽放送ほか

**<おかやま建築探訪>** 普段見られない所まで見学して建築のしくみと魅力を体験

**日 時**：10 月 3 日（土）・10 月 10 日（土）・10 月 17 日（土） 全 7 コース

**対 象**：中学生以上

**定 員**：各コース 20 名（申込み先着順）

**参加費**：無料（ただし、美術館は入館料が必要）

**集合場所**：受付後に通知

**申込み**：本会中国支部 HP より「おかやま建築探訪 参加申込書」をダウンロードして、必要事項を記入し 9 月 20 日（日）までに下記に申込む。

岡山支所事務局 FAX：086-238-3074

E-mail：okayama-sisho@aij-okayama.hope.cx

**<シンポジウム> 「文化としての建築と街のかかわり」**

**日 時**：10 月 24 日（土） 13:30～16:30

**場 所**：岡山県天神山文化プラザ・ホール（岡山市北区天神町 8-54）

**講 演**：倉方俊輔（建築史家）「わたしたち都市」を育む建築体験

**鼎 談**：倉方俊輔、上田恭嗣（ノートルダム清心女子大教授）、山田孝延（岡山県立大名誉教授）

**参加費**：無料

**定 員**：270 名（申込み不要）